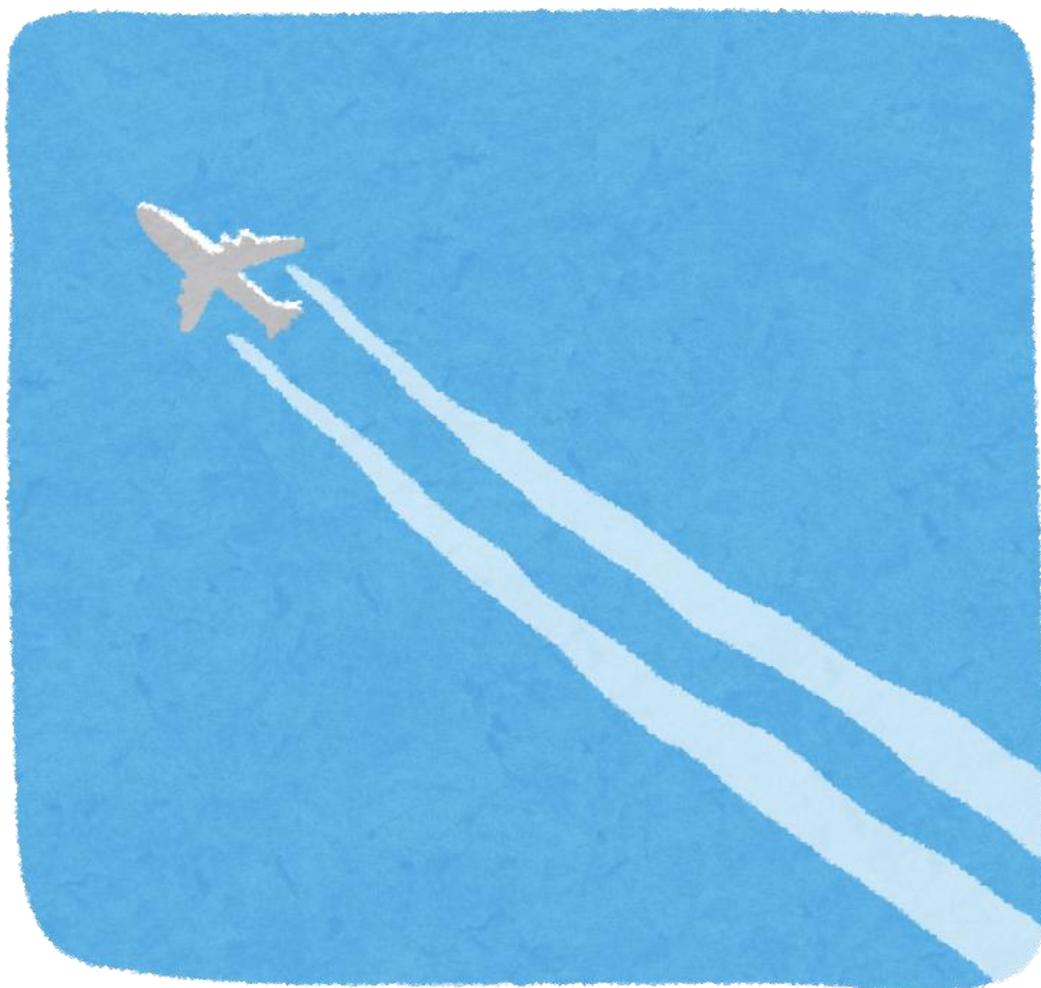


# 令和7年度予算の概要

次世代へつなげる“発展”予算



令和7年3月  
北海道千歳市

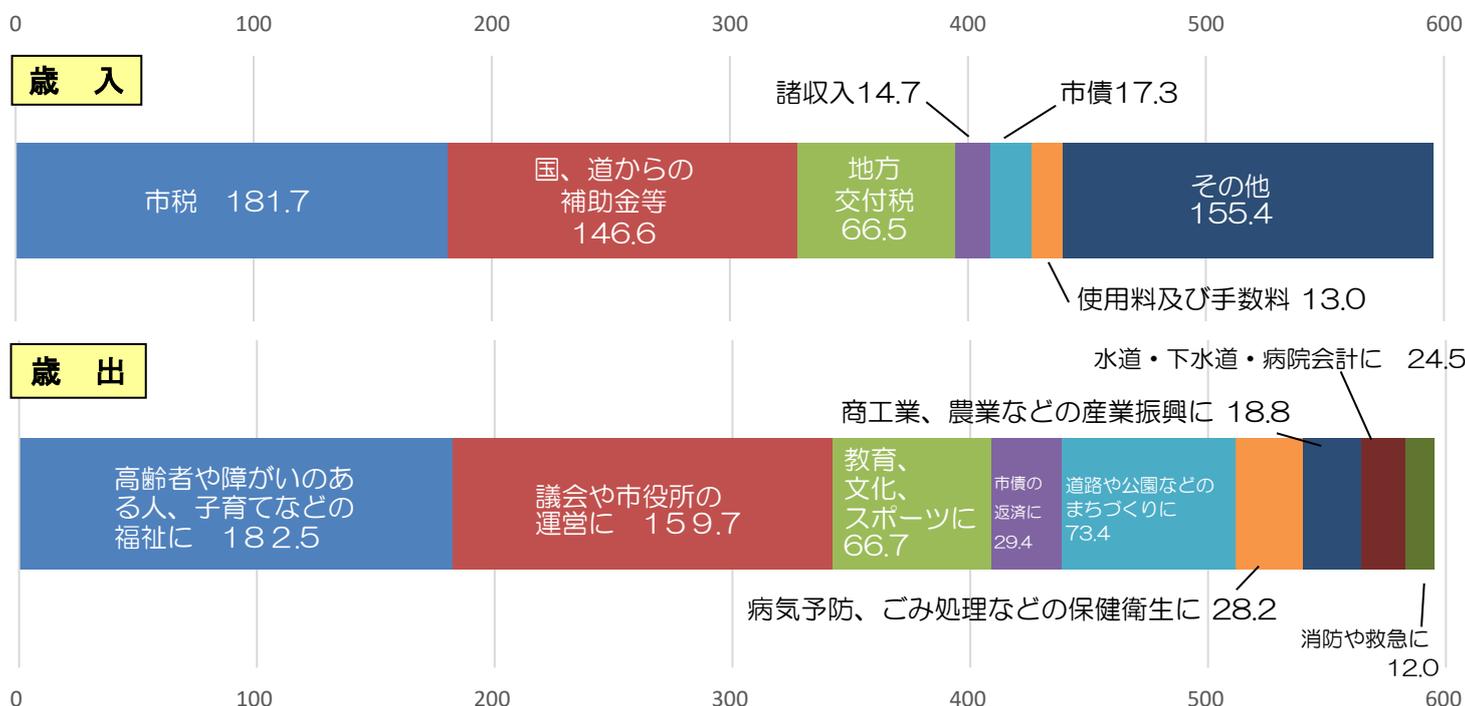
# 令和7年度各会計予算の状況

## 全会計 1,002億6千万円

**一般会計**  
595億2千万円

税金などの収入で市民生活や教育、福祉などの基本的な事業を行う会計です。

(単位：億円)



**特別会計**  
186億3千万円

料金や保険料などの収入で特定の事業を行う場合などに設ける会計です。

**公営企業会計**  
221億1千万円

民間企業と同じように、独立採算性を原則としている会計です。

国民健康保険	79億6,895万円
土地取得事業	157万円
公設地方卸売市場事業	7,085万円
霊園事業	2,618万円
介護保険	61億2,988万円
後期高齢者医療	14億9,261万円
土地区画整理事業	29億3,658万円

水道事業	39億5,347万円
下水道事業	90億6,616万円
病院事業	90億9,387万円



# 千歳市の一般会計予算を目的別に、 市民1人あたりの金額に置き換えると…

1人あたり

## 61万3千円

(令和7年度一般会計予算を、令和7年3月1日現在の人口97,148人で割ったもの。)

高齢者や障がいのある人、子育てなどの福祉のために  
18万8千円



議会や市役所の運営のために  
16万5千円



教育、文化、スポーツの振興のために  
6万9千円



市債(借金)の返済のために  
3万円



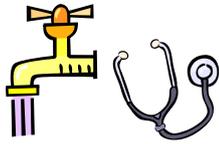
道路や公園などのまちづくりのために  
7万6千円



病気予防、ごみ処理などの保健衛生のために  
2万9千円



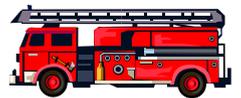
水道・下水道、病院会計に  
2万5千円



商工業、農業などの産業振興のために  
1万9千円

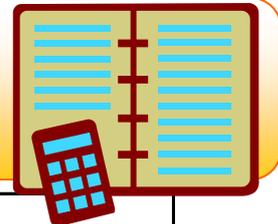


消防や救急のために  
1万2千円



※千歳市の借金残高(約256億円)を市民1人あたりに換算すると、約26万3千円になります。

# 市民1人あたりの金額を性質別に、 家計簿に置き換えると…



## 千歳市の家計簿

支 出		収 入	
食費 (人件費)	7万9千円	給料 (市税)	18万7千円
光熱水費・電話代 (物件費)	13万1千円	諸手当 (国・道支出金)	15万1千円
医療費 (扶助費)	13万6千円	家族からの仕送り (地方交付税、交付金、譲与税)	15万6千円
仕送り・小遣い (補助費等、投資・出資、繰出金、貸付金)	14万3千円	同居家族からの収入 (使用料及び手数料、分担金及び負担金)	1万4千円
貯金の積み立て (積立金)	1万4千円	財産の運用による収入 (財産収入)	1万2千円
家の改修、家電の購入 (維持補修費、投資的経費)	8万円	貯金の活用 (繰入金、繰越金)	6万円
ローンの返済(元利) (公債費)	3万円	親類からの返済金など (諸収入)	1万5千円
		新たなローン借入 (市債)	1万8千円
	61万3千円		61万3千円

# 令和7年度の主な実施事業

## 1. あたたかさとつながりを心で感じられるまち

<b>重層的支援体制整備事業費</b> 1,545万8千円（新規）	<b>子ども医療費助成事業費</b> 3億6,956万3千円
介護、障がい、子ども、生活困窮の各分野での相談体制では対応が難しい、複雑化した問題へ対応するため、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施します。	令和7年8月診療分より、子ども医療費助成の所得制限を撤廃し、高校生世代（18歳）までの医療費を原則無料とします。
<b>ヤングケアラー支援体制強化事業費</b> 41万3千円（新規）	<b>保育士等確保支援事業費</b> 3,176万1千円（新規）
ヤングケアラーとその支援について理解促進を図るため、関係機関を対象とした研修会を開催します。	保育従事者数の増加を図るため、子育て支援員を新たに雇用するために必要な費用を補助するとともに、子育て支援員を養成する研修を実施します。
<b>こども誰でも通園制度実施支援事業費</b> 1,520万7千円（新規）	<b>高齢者補聴器購入費等助成事業費</b> 320万円（新規）
未就園の0歳6か月から満3歳未満のこどもを、月一定時間の利用枠において保護者の就労要件等に関わらず受け入れる「こども誰でも通園制度」を先行実施します。	補聴器の利用を促進するため、満65歳以上の身体障害者手帳の交付の対象とならない中等度難聴の高齢者に対し、補聴器の購入費用等の一部を助成します。

（他の主な実施事業）

- ・介護サービス提供基盤等整備事業費
- ・自立支援給付事業費
- ・地域生活支援事業費
- ・障がい者医療的ケア支援事業費
- ・児童手当給付事業費
- ・障害児給付事業費
- ・医療的ケア児支援事業費
- ・特定教育・保育施設給付事業費
- ・へき地児童クラブ運営事業費
- ・生活保護事業費
- ・骨髄ドナー助成事業費
- ・予防接種推進事業費
- ・妊産婦委託健康診査事業費
- ・妊婦のための支援給付事業費 など

## 2. 豊かな自然を育み快適で住みよいまち

<b>公用車次世代自動車推進等業務経費</b> 815万5千円（新規）	<b>公共施設等脱炭素化推進事業費</b> 2,500万円
千歳市地球温暖化対策実行計画に基づく温室効果ガス排出量の計画的な削減を推進するため、順次、公用車を次世代自動車に転換します。	公共施設の脱炭素化を推進するため、太陽発電設備を計画的に設置します。令和7年度は、千歳第二小学校、みどり台小学校、勇舞中学校、子育て総合支援センターに設置します。

（他の主な実施事業）

- ・脱炭素化推進事業費
- ・千歳美々ワールド周辺環境影響調査事業費
- ・共同受信施設設置事業費
- ・道央廃棄物処理組合経費
- ・道央廃棄物処理組合最終処分場建設事業費
- ・焼却処理場煙突撤去事業費 など

### 3. 災害や危険から暮らしを守るまち

<b>札幌圏共同消防通信指令システム運用業務経費</b>	<b>3,290万2千円（新規）</b>	<b>消防車両等更新事業費</b>	<b>2億971万6千円</b>
札幌圏6消防本部で消防通信指令システムを共同運用することにより、効果的・効率的な応援体制を確立し、消防力の強化を進めます。		安全・安心した暮らしを維持するため、救助工作車及び高規格救急自動車を消防車両等整備計画に基づき更新整備します。	

（他の主な実施事業）

- ・暴力追放・防犯対策事業費
- ・交通安全推進事業費
- ・火災予防等推進普及事業費
- ・札幌圏共同消防通信指令システム更新整備事業費
- ・消防団員研修業務経費
- ・防災訓練事業費
- ・災害応急対策用品等整備事業費
- ・消火栓更新事業費 など

### 4. 充実した学びと豊かな文化・スポーツのまち

<b>生徒指導事業費</b>	<b>207万1千円</b>	<b>キウス周堤墓群ガイダンスセンター管理業務経費</b>	<b>711万円（新規）</b>
不登校の未然防止や教室に登校することが困難な児童生徒の学習保障などの充実をはかるため、「校内教育支援センター」に専属の支援員を6名配置します。		令和7年4月下旬のキウス周堤墓群ガイダンスセンターのオープンにあたり、セレモニー関連費用のほか、新センターの維持管理に係るランニング費用、施設管理人の人件費等を計上します。	
<b>新学校給食センター整備事業費</b>	<b>2,346万8千円</b>	<b>地方大学・地域産業創生事業費</b>	<b>4,967万3千円（新規）</b>
現在の学校給食センターが抱える課題を解消し、より安全・安心で多様な献立に対応した新たな学校給食センターの整備を行うため、「千歳市新学校給食センター整備基本計画」に基づき、事業者の募集に向けて、要求水準書等を策定します。		公立千歳科学技術大学が北海道大学と連携して、実際の半導体製造工程が実習可能な施設の整備、半導体教育プログラムの共有、企業共同研究に取り組み、人材育成等を一体的に推進するための整備費や研究費の一部を負担します。	

（他の主な実施事業）

- ・市民活動交流センター管理運営業務経費
- ・アイヌ政策推進関連予算
- ・修学支援事業費
- ・特別支援教育事業費
- ・小中学校就学援助事業費
- ・小中学校ICT機器等整備事業費
- ・小中学校冷房設備整備事業費
- ・高齢者学級開催事業費
- ・地域学校協働活動推進事業費
- ・文化財保護保存業務経費
- ・国指定史跡整備事業費
- ・移動図書館車更新事業費
- ・市民文化センター・市民ギャラリー施設管理経費
- ・給食提供業務経費
- ・スポーツ普及推進事業費
- ・温水プール改修事業費
- ・青葉公園庭球場改修事業費
- ・公立大学法人運営事業費 など

## 5. 地の利と資源を生かした産業のまち

<b>千歳美々ワールド整備事業費</b>	<b>1億6,179万7千円</b>	<b>有害鳥獣等駆除事業費</b>	<b>444万7千円</b>
次世代半導体製造工場の事業活動に必要な道路などのインフラ整備を適切に進めるとともに、上下水道、電力、ガス等の関連インフラ整備の全体調整などの業務を実施します。		シカによる食害被害を防止するため、シカを追い払う獣害対策機器や生息状況を遠隔で確認できる自動撮影赤外線式カメラを導入するほか、有害鳥獣駆除に係る補助金を増額します。	
<b>クマ防除経費</b>	<b>386万4千円</b>	<b>土地区画整理事業特別会計繰出金</b>	<b>27億1,122万2千円</b>
住宅街に近い場所でのクマの出没を未然に防止するため、クマ避け装置や生息状況を遠隔で確認できる自動撮影赤外線式カメラを導入するほか、クマ防除隊への出動報酬等を増額します。		既存工業団地の土地売払収入等を柏台地区における新工業団地の造成費用等の資金として手当するため、繰出金を計上します。	

(他の主な実施事業)

- ・次世代半導体拠点推進事業費
- ・環境保全型農業直接支援対策事業費
- ・ヒメマス保護振興事業費
- ・立地企業振興事業費
- ・商業等活性化事業費
- ・観光基本計画策定業務経費
- ・地元就職・人材確保支援事業費
- ・スマート農業普及推進助成事業費
- ・ヒメマス地域特産品ブランド化事業費
- ・中小企業対策支援事業費
- ・観光PR事業費
- ・外国人旅行者誘客事業費 など
- ・経営安定化対策事業費
- ・森林整備事業費
- ・企業誘致推進事業費
- ・商業振興プラン策定業務経費
- ・イベント支援事業費

## 6. 暮らしやすく便利な都市基盤があるまち

<b>自動運転社会実装推進事業費</b>	<b>1億1,463万1千円</b>	<b>2026ちとせ・空港開港100年記念事業費</b>	<b>5,393万円</b>
千歳駅一向陽台地域を結ぶ大型バスの自動運転実証実験を実施します。期間を拡充し、冬季を含む3か月程度実施するほか、レベル4認証取得に向けた検証を行います。		令和8年に空港開港100年を迎えるにあたり、記念動画や学習まんが等の作成を進めるとともに、実行委員会の取組として、まち全体で祝賀することを目的としたイベントを実施します。	
<b>市道整備事業費</b>	<b>7億8,220万円</b>	<b>新土地利用調整業務経費</b>	<b>566万4千円</b>
市が管理している幹線・補助幹線・郊外・生活道路のうち、ひび割れや凹凸が発生している路線について、改良や修繕等の工事を実施し、地域住民の利便性の向上や生活環境の改改善を図ります。		次世代半導体製造工場の立地を契機としたまちの発展に伴い、水需要の増加が想定されることから、水を確保するため、河川からの取水可能性等について検討を行います。	

(他の主な実施事業)

- ・バス路線確保対策補助事業費
- ・まちなか地域交流推進事業費
- ・27号通整備事業費
- ・都市計画推進業務経費
- ・青葉公園整備事業費
- ・公営住宅等長寿命化型改善等事業費
- ・地域公共交通利用促進事業費
- ・除排雪事業費
- ・29号通整備事業費
- ・緑の基本計画(改訂版)策定事業費
- ・インクルーシブ遊具整備事業費
- ・東雲団地用途廃止事業費
- ・AIオンデマンド交通導入推進事業費
- ・橋梁長寿命化対策事業費
- ・街路灯LED化整備事業費
- ・市内公園整備事業費
- ・市営住宅管理業務経費
- ・公営住宅建替事業費(富丘団地) など

## 7. 多彩な市民とオール千歳で挑戦するまち

(仮称)大和地区コミュニティセンター整備事業費	7,941万9千円	公開型・統合型GIS整備事業費	1億479万1千円(新規)
自主的なコミュニティ活動のための拠点施設及び災害時の指定避難所としての機能を有する「(仮称)大和地区コミュニティセンター」の整備に向け、実施設計を行います。		市が保有する地理空間情報(ハザードマップなど)を広く一般に公開し、業務の効率化や市民サービスの向上を図るとともに、統合型GISと連動したクラウド型被災者支援システムを導入します。	

(他の主な実施事業)

- ・自衛隊体制強化要望活動事業費
- ・男女共同参画推進事業費
- ・情報政策推進事業費
- ・市公式ホームページ機能強化事業費
- ・ふるさと千歳応援事業費
- ・町内会育成事業費 など
- ・市民協働推進事業費
- ・自衛隊連絡調整業務経費

千歳市の財政に関するお問い合わせは・・・

千歳市総務部財政課      Tel : 0123-24-0541(直通)